



1. 2004年に創業してから東証マザーズ上場を経て、東証一部への昇格を果たした
 2. ディア・ライフ子会社のパルマも同月に上場。前列の左から4人目がパルマの高野茂久社長
 3. 早稲田大学出身者の創業社長らで組織されている「ベンチャー稲門会」の幹事を務めている。右は代表幹事の小笹芳央リンクアンドモチベーション会長

FACE

首都圏でコンパクトマンションなどの開発、販売で急成長しているディア・ライフ。会社設立から3年目に東証マザーズに上場し、それから8年後の昨年8月に東証一部に昇格した。単体の従業員数は20人弱で、一部上場企業の中でも相当コンパクト。その理由は社内営業部隊を持っていないため。同社がコ

コンパクトマンションの開発で急成長、創業第2ステージは“フィンテック”を活用したビジネスも



阿部 幸広

ディア・ライフ社長

あべ ゆきひろ 1968年福岡県生まれ。90年早稲田大学商学部を卒業、同年ニチメン（現双日）入社。2004年に退社し、ディア・ライフを設立。07年8月東証マザーズ上場を経て、15年8月に東証一部に市場変更。ドラッグストアの入金管理や滞納保証を行う子会社パルマも同年8月に東証マザーズに上場した。





親会社の東証一部上場と共に、子会社のトランクルーム事業者向けサービスを行う「パルマ」も同時期に東証マザーズに上場し、昨年は両社で約20億円を市場から調達した。不動産マーケットも堅調で、創業第2ステージは絶好の船出となった。



1990年4月 ニチメン（現双日）入社
建設部へ配属
集合住宅、オフィスビル開発等 約200案件、
14年間一貫して東京の不動産開発に従事

2004年4月 ニチメンと日商岩井が合併し双日となる
同年7月 建設部が東成へ移転

2004年10月 双日退社

2004年11月 デイアール・ライブ設立



FACE

4. 「ベンチャー稲門会」の例会で講演。メンバーを前に、起業の背景から今後の経営戦略を語った(2016年2月、銀座)
5. 少数精鋭の運営で、ミーティングにも熱が入る
6. 社内にはフィットネス器具もあり、時間を見つけてはリフレッシュも
7. 大人になって始めた柔道。講道館二段の有段者である

もありました(阿部社長)

最初は住宅販売会社向けの人材紹介業を起ち上げたもののうまくいかず、その時にいくつか持ち込まれた不動産関連の仕事が決まり出して、それが現在に続く基礎となっている。

「マザーズ上場までは順調でしたが、リーマンショックで、2年間は開店休業でした(同)

ファミリー向けマンションや商業ビルなどは市況の波に飲み込まれやすいが、コンパクトマンションは売り方を工夫すれば痛手は少なく、多くの販売会社が破綻した中で生き残った。

これからは創業第2ステージを迎えるが、キーワードは「フィンテック」だ。阿部社長は「クラウドファンディングが一部で活用されていますが、当社が考えているのはその先の形です」と自信満々の様子だ。

K